

梅花新聞

令和元年度第1号
(発行日)
令和元年5月30日
(発行者)
近畿大学附属広島
高等学校・中学校
福山校新聞部

みなさん、こんにちは！
新しい学年が始まって一ヶ月余りですが、「令和」という新しい時代の幕開けがあったり、身近なところでは中間考査がありました。そして、本校にはたくさんの先生方が新しく赴任されています。今回、先生方にはアンケートをお願いして答えていただきました。ここでご紹介していきたいと思

- 今西康晴先生
- ①化学 ②硬式テニス
 - ③学校・塾の先生
 - ④横長
 - ⑤挑戦し、失敗し、成長して高く跳んでください。

- 岡田和真先生
- ①社会 ②野球 ③教師
 - 、社長 ④あいさつがとても気持ちがいい！
 - ⑤すばらしい生徒たちがそろっているので、ともに成長したいです。一緒に頑張りましょう！

- 奥村宗治先生
- ①国語 ②読書・散歩
 - ③高校生の頃は教員。作家・新聞記者など文字や言葉を扱う仕事にも興味がありました。
 - ④私の母校！ 期待・不安・緊張などいろいろ感じています。
 - ⑤昨年教育実習で出会えたみなさんと教員として再会できて光栄に思っています。新人ですが精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。

こらむ

近年、高齢者ドライバーの事故が多発している。アクセルとブレーキの踏み間違いや、標識の見落とし・見間違いによる高速道路の逆走など、連日耳にする。この状況の背景にはどのようなことがあるのか。▼まず近年の自動車の開発だ。「乗り心地」や「運転の利便性」を追求した結果、たとえば以前は必ず行う必要があったギアチェンジやクラッチを踏む手間が省けるようになった。しかし、踏み間違いはこの手間の省略によって生じやすくなったとも考えられるのだ。シフトチェンジコラムで確実にギアをいれないと車は動かないからである。▼次には公共交通機関の廃線である。高齢者が多く暮らす地方ではこれに伴い、自動車が不可欠となり、免許の返納が進まない現状があるのだ。▼要は、運転者の立場だけでなく、事故の軽減を重視する開発が求められる、高齢者社会の問題点を考えるべき時が来たということだろうか。事故という悲しい出来事の際に社会のあり方も問われるように思われる。

ようこそ！ 近大福山へ！ 四月から出会った先生方

梅村隆継先生

- ①社会・日本史・倫理
- ②ドライブ・子どもと遊ぶ・Yes, and...
- ③防災設備会社(家の仕事)経営
- ④3年経って戻ってきただけなので...
- ⑤みんなYes, and...をして、人間関係を円滑にしましょう。

- 岡野慎治先生
- ①理科
 - ②車・音楽・釣り・料理・写真・天体観測
 - ③教員
 - ④みんな(生徒・教員)が、もれなく挨拶してくれる！
 - ⑤文化祭、特に有志の発表に期待しています。頑張ってください

- 藤本百合子先生
- ①英語 ②バドミントン・ドライブ
 - ③教員(中学でお世話になった先生の影響)
 - ④生徒のみなさんの笑顔と気持ちの良い挨拶が私を元気づけてくれます。活気に満ちた環境で仕事ができることを喜んでいきます。
 - ⑤無限の可能性を持っているみなさんには、高い志を持つてほしいと思います。If you can dream it, you can do it.

- 「二銭銅貨」江戸川乱歩
- 「日本最初の推理小説」と言われる作品。主人公が友人の「松村武」と共に大金を手に入れられる暗号を解きます。
- 『獄門島』横溝正史
- 名探偵・金田一耕助が登場します。「獄門島」と呼ばれる孤島での殺人事件を、閉鎖的な人間関係と少ない手がかりをもとに解決しようとする話。本作品のトリックとなる大胆な伏線は見物です。
- 『戻り川』連城三紀彦
- 推理小説は、謎が中心なので、物語が無機的なものになりやすいのですが、この作品は違います。「花」をモチーフとした連作短編集で、推理小説としての結末もありますが、そこに展開される人間模様も秀逸。表題作がよく推されますが、私は「桔梗の宿」がおすすめ。

- 難波日向子先生
- ①国語 ②映画鑑賞。週に三本は見てます！
 - ③何にも！考えてなかったです。でも「先生っていいなあ」とぼんやり思っていたような気がします。文章を読むのが好きだったので、教師・記者・編集者など沢山文章に触れる仕事には憧れていました。大学では会報誌の編集委員をしていました。

- 光永裕一先生
- ①数学 ②運動すること。特技は一日寝るとだいた元気になること。
 - ③中学・臨床検査技師 高校・教員
 - ④初めて校門をくぐったとき、すぐに挨拶してくれる生徒がいて、元気な生徒が多いなあという印象でした。
 - ⑤明るく楽しくがモットーです。一緒に学校生活を充実させましょう！

- 寶龍隆司先生
- ①英語 ②バドミントン・ドライブ
 - ③教員(中学でお世話になった先生の影響)
 - ④生徒のみなさんの笑顔と気持ちの良い挨拶が私を元気づけてくれます。活気に満ちた環境で仕事ができることを喜んでいきます。
 - ⑤無限の可能性を持っているみなさんには、高い志を持つてほしいと思います。If you can dream it, you can do it.

- 藤本百合子先生
- ①英語 ②旅行
 - ③旅行会社の添乗員
 - ④あいさつがよくできる
 - ⑤近大福山でしっかりと勉強して、自分の夢をつかもう！

「戻り川」連城三紀彦

推理小説は、謎が中心なので、物語が無機的なものになりやすいのですが、この作品は違います。「花」をモチーフとした連作短編集で、推理小説としての結末もありますが、そこに展開される人間模様も秀逸。表題作がよく推されますが、私は「桔梗の宿」がおすすめ。

- 守屋真幸先生
- ①美術
 - ②日帰り温泉巡り
 - ③絵本作家
 - ④環境に恵まれ、生徒の自主性が高い学校だなと思えました。
 - ⑤美術の授業を楽しんでほしいなと思います。沢山のことにチャレンジして、沢山の経験をしてほしいです。

- 私のオススメ！
~推理小説~
- 日本の推理小説は『萬朝報』を創刊したことで有名な黒岩涙香に始まり、江戸川乱歩が発展させ、今に続いています。推理小説はイメージの通り、初めに事件が起きて、関係者の頭を悩

- 「戻り川」連城三紀彦
- 推理小説は、謎が中心なので、物語が無機的なものになりやすいのですが、この作品は違います。「花」をモチーフとした連作短編集で、推理小説としての結末もありますが、そこに展開される人間模様も秀逸。表題作がよく推されますが、私は「桔梗の宿」がおすすめ。

- 「戻り川」連城三紀彦
- 推理小説は、謎が中心なので、物語が無機的なものになりやすいのですが、この作品は違います。「花」をモチーフとした連作短編集で、推理小説としての結末もありますが、そこに展開される人間模様も秀逸。表題作がよく推されますが、私は「桔梗の宿」がおすすめ。

「戻り川」連城三紀彦

推理小説は、謎が中心なので、物語が無機的なものになりやすいのですが、この作品は違います。「花」をモチーフとした連作短編集で、推理小説としての結末もありますが、そこに展開される人間模様も秀逸。表題作がよく推されますが、私は「桔梗の宿」がおすすめ。

新体育館完成記念行事

祝!

い体育館を満たし、合唱コンクールの再来を思わせました。歌った人たちも、「学年全体で歌う機会

四月二十三日（火）に「新体育館記念行事」がありました。ここではその模様をお伝えします。まずオープニングを飾るのは、高校一年生と二年生の合唱です。65日の紙飛行機「二年生は「果てない空」を歌いました。練習期間は短かったと思いますが、とてもきれいな歌声のハーモニーが新しい体育館を満たし、合唱コンクールの再来を思わせました。歌った人たちも、「学年全体で歌う機会



はめつたにないのので楽しかった」とのことでした。次に高校三年生有志による動画でした。内容は、リフォームの前後を紹介する某有名番組のような構成で、学校の私たちの知らない昔と今の風景を比べて紹介してくれました。知らないことが多く、ずっと驚いてばかりでした。先生方の中には「懐かしい！」という眩きが聞こえました（笑）その後は、いろんな先生方の若いころの写真を見て、どの先生か当てるというクイズや、先生インタビュー、そして以前の学校の写真を

を見て、写っている場所が今の学校のどこかを当てるクイズは難しかったです。選択肢はどれも当てはまりそうで、答えを聞いた時は、「えーっ」と思いました。そして、生徒会からのお知らせが最後にありました。新体育館を飾る巨大展示物を、中高の生徒全員で制作するというこ

小さな生命を考える

ねこみ福山さんの取材を通して

と。みんなが新体育館を華やかにする素晴らしい作品を作れたらいいと思います。「記念行事」なので正直なところ、重々しい雰囲気のものだと思っていました。学校の昔がわかり、そして何より楽しく過ごせました。生徒会のみなさん、ありがとうございました。

前回の新聞で福山市南蔵王町の「保護ねこCafe『ania』」さんの紹介をしました。みなさん、覚えてますか？その取材を通して、私たちは考えたのです。カフェの猫たちは確かにかわいい。でも、この猫たちはなぜここにいるのか？それを伝えなければ取材を終えるわけにはいかないのではないかと、そこで新聞部で

は、この保護ねこカフェの活動を支える福山市地域猫活動ボランティアグループ「ねこみ福山」さんを訪ね、グループの活動について、池内雅恵さんに聞かせていただきました。まず、活動の内容を教えてください。簡単にいうと、外で暮らす飼い主のいない猫をなくす…そのために飼いでいて、そばに来た猫に餌をあげたらすり寄ってきてくれて、嬉しかった。それで、次々に猫に餌をあげて、結局このようになってしまった…ということでした。活動をしている、社会的に弱者といわれるような方と出会うことが多いんです。

たい人に適切な飼育の仕方を伝える、不妊手術などを行って、飼い主がいない猫を増やさないようにする、地域猫活動を行う…などしています。この活動を始めようと思ったきっかけは？以前、道に捨てられていた子猫を拾ったら、そのすぐ後に同じ所にまた子猫が捨てられているということがあり、人間の身勝手さみたいなものを感じました。あと、「多頭飼育崩壊」の現場を見たことも関わっています。・「多頭飼育崩壊」とは？動物を多数飼育した飼い主が、無秩序な飼い方による異常繁殖の末、飼育不可能となる現象のことです。大変劣悪な環境で飼育されることが多く、動物もですが、飼い主の家族も生活環境が損なわれます。・不妊手術を行うことも活動の一つということですが…猫にとっては子

孫を残す行為を妨げられている気がしますが…。確かに可哀想かもしれませんが、でも、子猫が生まれて、飼育する数が増えると、お腹いっぱい食べられなかったり、場合によっては飼いきれないからと捨てられてしまったりします。大切にされず、不幸な飼われ方をする猫を少なくしたいというのが私たちの願いなので、やはり不妊手術は必要だと思っています。・私たちにもできることは何かありますか？そうですね。私たちと一緒に活動するというのもありますが…。その他としては、猫に関するグッズの販売などをしているので、その制作や購入に協力してくださる方法もあります。あとは、猫を飼うときに、ペットショップではなく、できれば愛護センターや保護

猫カフェで出会った猫を飼ってくださると嬉しいです。そして、何より、動物を飼うときに責任を持つてもらうことをお願いしたいと思います。猫たちと人間社会との関係とは…責任ですか…。そうですね。猫によつては高校生のみなさんのお小遣い程度で買えてしまう子もいます。それで気軽に飼いはじめたとしても、猫の寿命は十数年です。高校生のみなさんが、進学や就職、結婚などで家から離れた後も猫は生きています。購入したあなたが家を離れても飼いは続けることができるかどうか…そこまですべて考えて飼うかどうかを決めてほしいんです。・なるほど。そこまで考えて、また家族の同意も含めて覚悟みたいなものをもつということですね。



池内さんは、本当に猫を大事に思われているんですね。そうですね（笑）でも、私は、この猫の問題は人間社会の問題でもあると思うんです。例えば、さっきお話しした多頭飼育崩壊のことです。なぜそんなにたくさん猫を飼うのか、というと、ある飼い主さんは一人暮らしで家族もおらず、職場でもあまり話すことがない境遇だったんです。寂しい気持ちを抱えながら暮らし

があつて、寂しさを紛らわせるためという事情があるとは全く思ってもいませんでした。また、ねこみ福山さんの活動は、猫が好きなのも苦しい人も安心して暮らせる環境作りに繋がるとも教えていただきました。今回の取材を通して初めて気づいたことが多く私がいづのも何ですが、みなさんもねこみ福山さんの活動を知り、動物を飼うことや、小さな命を大切にすることを考えてほしいと思います。この記事がそのきっかけになれば嬉しいです。


